

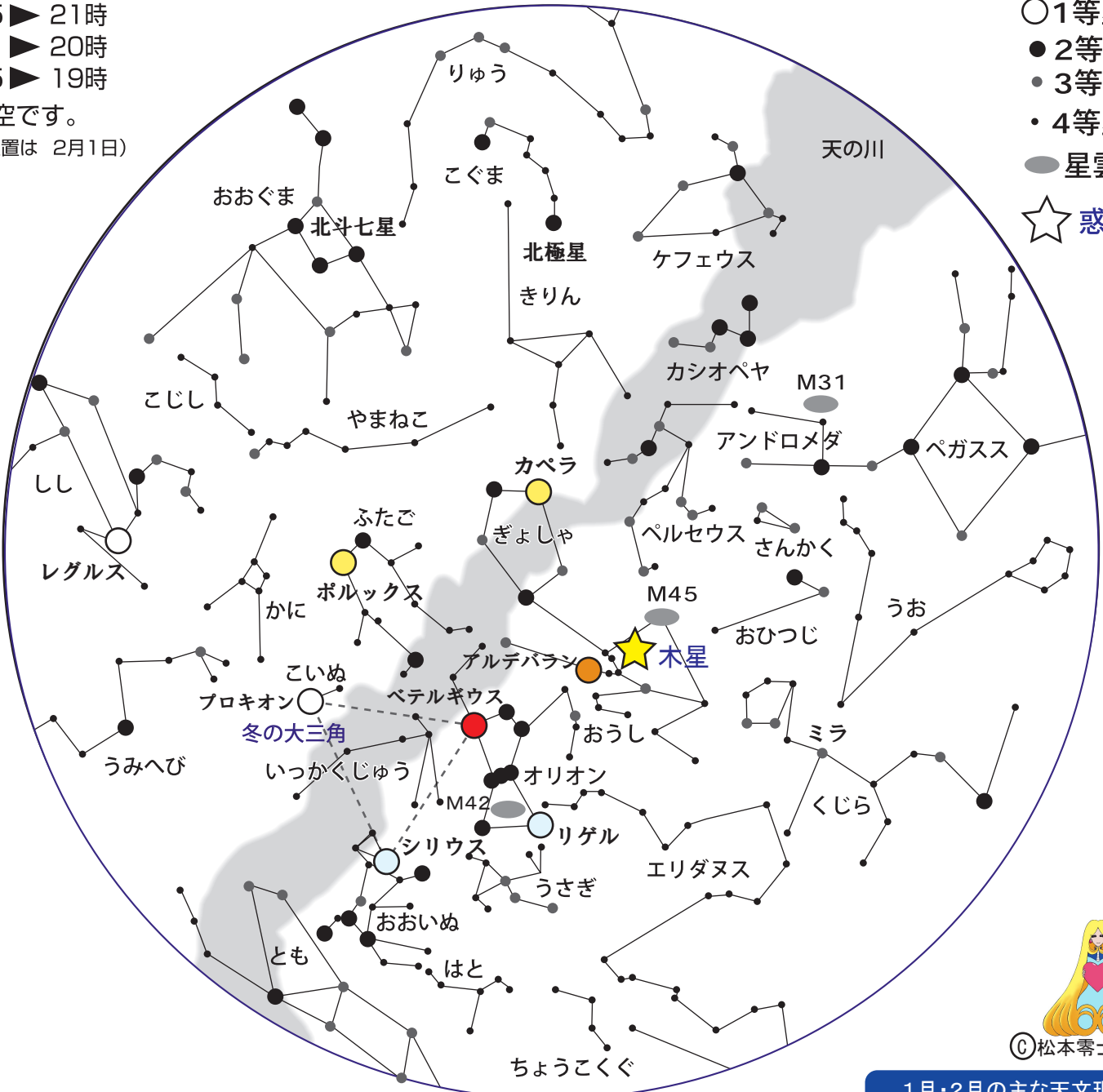
2013年

1月▶2月の星空



この図は
 1/ 1 ▶ 22時
 1/15 ▶ 21時
 2/ 1 ▶ 20時
 2/15 ▶ 19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は 2月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆ 惑星



郡山の日の出・日の入		
1/ 1	6:53	16:32
1/15	6:52	16:45
2/ 1	6:42	17:03
2/15	6:28	17:18

月の満ち欠け	
新月	1/12, 2/10
上弦	1/19, 2/18
満月	1/27, 2/26
下弦	1/ 5, 2/ 3

※上弦、下弦は半月です。

1月・2月の主な天文現象	
1/ 3	しぶんぎ座流星群が極大
1/31	木星が留
2/ 4	立春
2/17	水星が東方最大離角

冬至も過ぎてすっかりと寒くなり、宵空も冬の星たちが主役となりつつあります。冬の星は1等星が多く、様々な色の星があり、ととにぎやかです。星は温度が高い順に、青白、白、黄、橙、赤などの色で輝きますが、すべての色の1等星がそろっているのは冬の星だけです。星の色は、見る人によって印象が変わりますので、ぜひ自分の目でどのように見えるのか確かめてみてください。宵空にもっとも明るく輝く木星から南東側へ目を向けると赤い星「ベテルギウス」が輝いています。ここから明るい星を結んで長方形を作り、その中に3つきれいに並ぶ星を見つけることができれば、それが「オリオン座」となります。どれも明るい星で、街中でも見つけることができます。このオリオン座を目印に、美しい冬の星たちをめぐってみてください。

1月3日に3大流星群の1つである「しぶんぎ座流星群(りゅう座イオタ流星群と呼ぶこともあります)」がピークを迎えます。夜半過ぎに明るい月がのぼってくるため、少し条件は悪いです。明るい流れ星を見ることができるかもしれませんが。輻射点ののぼってくる夜半から明け方にかけて、北東を中心に空の広い範囲を眺めるようにして流れ星を探してみてください。

